

独立行政法人国立印刷局における 新型コロナウイルス感染症の感染者の発生について

【概要】

令和3年7月29日（木）、国立印刷局東京工場の職員①（男性40代、神奈川県在住）及び職員②（男性50代、埼玉県在住）が、それぞれ新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。また、令和3年7月30日（金）、国立印刷局小田原工場の職員（男性50代、神奈川県在住）が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

【東京工場職員の従事状況】

- ・ 職員①及び職員②については、東京工場において、日本銀行券部門で印刷を行う作業に従事していました（常にマスク着用）。なお、外部の方と接する業務は行っておりません。
- ・ 職員①については、7月21日（水）までは通常勤務を行っていましたが、7月22日（木）以降は東京工場での勤務はありません。
- ・ 職員②については、7月27日（火）までは通常勤務を行っていましたが、7月28日（水）以降は東京工場での勤務はありません。

【小田原工場職員の従事状況】

- ・ 小田原工場において、日本銀行券用紙を製造する部門で用紙の製造作業に従事していました（常にマスク着用）。なお、外部の方と接する業務は行っておりません。
- ・ 7月27日（火）までは通常勤務を行っていましたが、7月28日（水）以降は小田原工場での勤務はありません。

【対応】

- ・ 国立印刷局においては、保健所が行う感染経路や濃厚接触者の特定等の所定の調査に協力してまいります。
- ・ また、当該職員が業務に従事していた場所を中心に、広範に消毒・清掃を行いました。今後、保健所にも相談を行い、対応してまいります。
- ・ 保健所から当該職員との濃厚接触が疑われる職員の特定を受けておりませんが、念のため業務上接触があった職員を自宅待機としております（現段階で発熱等の症状がある職員はおりません。）。

(問合せ先)

独立行政法人国立印刷局 広報官室

電話番号：03-3587-4210